

## アメリカの高校生の生活

川邊 新（高校2年）

私にはトーランスを訪れる前まで、アメリカの高校生活というとTVドラマや映画で目にするような、カフェテリアや芝の上で昼食なんて光景が浮かんできました。本当のところ、アメリカの高校生活はどのようなものなのでしょう？どんな授業をとっているのか、部活はどんなものがあるのか、または部活はないのか、日本の高校生活と比べてどんな違いがあるのか、トーランス生に聞いた話をもとに紹介したいと思います。

### ◆ 授業中の様子は？

公立の学校であれば、細かいルールは校則で決められているというより先生がそれぞれ決めているようです。先生達からシラバスのようなものが学期初めに配られ、それには授業中の飲食の不可などが指定されているようです。トーランス生とソーシャルメディアを通して会話をしている時に、授業の動画が送られてきたことがあります。まず、授業中にスマホを使い、さらに動画をとることが可能であるということに驚きました。そして、教室の広さにも驚きました。中にはガムを噛んでいる人や、食事中の人もいました。とても自由な校風だと感じました。

### ◆ 夏休みが2ヶ月またはそれ以上。

アメリカの高校生は、9月から新学期が始まります。夏休みの長さは学校によって違いますが、ほとんどの学校は日本の学校の1.5倍以上の期間があります。冬休み、春休みも日本の学校と同じか、さらに長いということに驚きました。宿題は、結構多いようです。何人かのトーランス生は夏休み明け直前になると、とても忙しそうでした。

### ◆ 高校生の部活

アメリカの学校のクラブ活動は季節によって所属できるクラブが変わるため、シーズンごとに異なる活動をしていることが多いようです。春は野球、冬はバスケットボールのように多くのスポーツを体験することができます。さらに、日本では部活動では単位をもらえることはありませんが、アメリカはクラブ活動が保健体育の単位として認められる場合もあり、単位を取るために所属する人もいます。

実力重視で、先輩後輩の厳しい縦社会がないのが普通のようなようです。たとえ入部したばかりの生徒でも、実力があればすぐに一軍として活躍することができますし、逆に年上であってもレギュラーから外れてしまうことはよく見られるようなのです。トーランスサウスハイスクールはとてもスポーツに力を入れている学校の一つです。



アメリカの高校では、同じ高校でも日本とは全く違うことが日々行われているということに驚きました。やはり、アメリカの高校生活において全てに共通していえるのは、先生も生徒もそれぞれ自分のルールや意志を持って行動することが生活の一部であることです。勉強も自分の将来も遊びも一つ一つ自ら考えて行動する、自主、自立という生き方が既にアメリカでは高校生活から始まっているのだと感じました。